

巡回展「博物館が支える 日本の生物多様性の保全」概要

日本列島は、世界の中でも生き物の多様性が高い地域の一つであり、他の地域では見ることできない生き物がたくさん暮らしています。本展では、生物多様性について解説するとともに、博物館による生物多様性保全の方策等について、写真や標本、映像を交えながら紹介します。(解説パネル 20 枚、主な標本4点、映像 2 本)



【展示の概要】

展 示 構 成: ロールスクリーンパネル(21点)、映像コンテンツ(2点)、生物多様性フィギュアセット(1点)、
立体地形図(1点)、標本(4点)

展示必要面積: 約 100 m²~200 m²(目安)

設 営 時 間: 3人で平均1時間30分

貸 出 期 間: 1機関あたり1か月程度

【必要経費】

展示物の貸出使用料は無料ですが、経費として①輸送費、②保険料(輸送中、展示期間中)が必要になります。
その他、展示造作や広報物等を作成される場合は開催施設の負担となります。

① 輸送費

カゴ台車のサイズ: W0.95m×D0.8m×H1.7m(2台) ※展示物を積荷した状態でお送りします。

上記、輸送物の往復分を手配ください。金額は輸送距離によって異なりますので、
詳細はご手配いただく輸送業者さんへ問合せ願います。



カゴ台車の様子

② 保険料

各館でご利用されている保険会社等に輸送中と展示期間中の保険についてご相談ください。

【展示構成一覧】

章	パネルタイトル	点数	形態	サイズ(W*H)
	タイトルバナー「日本の生物多様性の保全」	1	自立型 ロールスクリーン パネル	850*2000
1章	生物多様性とは何か	1		
	国土が狭いながらも豊かな生物相	1		
	豊富な固有種に迫る危機	1		
	生物多様性地形図	1		
	アントロポーションにおける生物多様性の急変動	1		
2章	絶滅のおそれのある種のカテゴリー(環境省の分類)	1		
	東京から絶滅したサクラソウ	1		
	シカが増えて起こったこと	1		
	一度絶滅した日本のコウトリ	1		
	人間に振り回されてきたクニマス	1		
	里山環境の変化とそこに暮らす生物の衰退	1		
	帰化植物が引き起こしたチョウの増加	1		
	調べて、守る。日本の生物	1		
3章	絶滅寸前種の標本は貴重な情報源	1		
	ライチョウの復帰計画と剥製	1		
	普通種に隠れた希少種の発見 ツクバハコネサンショウウオ	1		
	生物多様性を守る方法	1		
	シマクモキリソウの再発見と繁殖の成功	1		
	コシガヤホシクサの生息域外保全	1		
	まとめ	1		
任意 展示	S-Net の紹介パネル	4		

章	資料名	点数	形態	サイズ(展示台含む)W*D*H
1章	生物多様性ホットスポット地形図	1	立体資料	535*535*1065
	生物多様性フィギュアセット	1	立体資料	535*535*1065
2章	クニマス(メス)	1	剥製	350*350*1240
3章	ツクバハコネサンショウウオ(オス・メス)	各1	レプリカ	350*350*1005
	コシガヤホシクサ	1	樹脂包埋標本	300*300*890
	サクラソウ	1	樹脂包埋標本	300*300*890
	筑波山塊の固有種・ツクバハコネサンショウウオの生態(2分47秒)	1	モニター&スタンド ※専用 AC アダプタ(3m)	・10 インチ ・350*350*1127~1242
	コシガヤホシクサの一生(2分17秒)	1		

【展示物イメージ】

解説パネルの一例

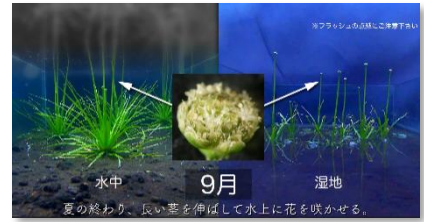


映像展示

※専用 AC アダプタ(3m)



筑波山塊の固有種・ツクバハコネサンショウウオの生態



コシガヤホシクサの一生

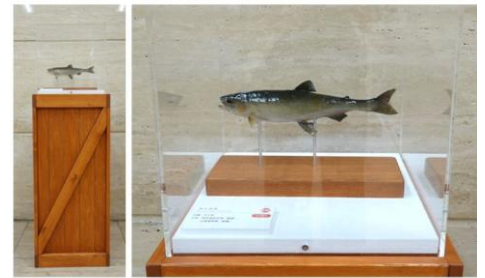
標本



サクラソウ(左)、コシガヤホシクサ(右)の樹脂包埋標本



ツクバハコネサンショウウオ(オス・メス)の模型



クニマス剥製

立体資料

フィギュアケース(左)、立体地形図(右)



パンフレットデータもあります！



ご来場者へ配布可能なパンフレットのデータ提供をしています。よろしければ印刷してご活用ください！

展示に関するご質問等ありましたら、下記までご連絡ください。

巡回展申込窓口

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20
国立科学博物館 展示部 常設展示・巡回展示課
巡回展示担当
TEL:03-5814-9893 FAX:03-5814-9899
E-mail: junkaiten@kahaku.go.jp